第３学年　道徳科学習指導案

１　主　題　名　家族の絆　Ｃ－（14）家族愛、家庭生活の充実

２　教　材　名　テーブルの卵焼き　出典「とびだそう未来へ　中学道徳３」

３　本時の学習

1. ねらいとする道徳的価値

自分の成長を願い，無私の愛情をもって育ててくれた父母や祖父母に対する敬愛の念を深め，家族を大切にしようとする態度を育みたい。

(２) 学習課程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 学　　習　　活　　動 | 教師の支援及び意図と評価 |
| つ  か  む  (10分) | １　親に対するイメージを考える。 ＜一斉＞  　・　お世話になっている。　・厳しい。  ２　東京ガスのＣＭ「お弁当メール編」を見る。  ３　家族に感謝するのはどんなときかを考え，意見を交流する。　　　　　＜個人→一斉＞  　・　欲しいものを買ってくれたとき。  　・　病気のとき看病してくれたとき。 | 〇　意図的指名で発表させることで，家族と自分との現在の関わりを考えやすくする。  〇　この発問を通して温かい雰囲気をつくり，家族の大切さを考えやすくする。  〇　自由に自分の考えを言い合える雰囲気をつくるために声を掛ける。 |
| ふ  か  め  る  (30分) | ４　範読を聴いたあとで，話題に沿って春菜の気持ちの変容を話し合う。　　　　＜一斉＞  ５　朝ごはんも食べずに家を出てきた春菜の気持ちを考える。　　　　　　　　＜一斉＞  　・　やろうと思っていたのに言われるとやる気がなくなる。  ６　家を出た春菜を見た母の気持ちを考える。  　　＜個人→一斉＞  　・　けんかをしたけど，大好きな卵焼きを食べて気分良く学校に行ってほしかったのにな。  大野さんの歌や話を聴いて，「朝の卵焼きがまだ残っていますように。」  と祈った時の春奈はどんな気持ちだったのだろうか。  ７　春菜が祈ったときの気持ちを考え，発表する。　　　　　　　　　　　＜個人→一斉＞  ・　けんかをしてもお母さんは私のことを考えてくれてたんだな。 | 〇　母親に反抗してしまったときの，春菜の気持ちに共感できるように発問をする。  〇　母が卵焼きに込めた思いに気づかせる。  〇　大野さんの歌に込められた，母と子の強い絆や家族のありがたさに気付き，春菜の気持ちの変化を考えられるようにする。 |
| あ  た  た  め  る  (1０分) | ８　本時の振り返りをする。　　 　＜個人＞  　・　家族は自分のことを大切に想ってくれているので，その想いに応えられるように生活していきたい。 | 〇　これまでの生活を振り返り，自分にとっての家族はどんな存在なのか，自分は家族の一員として何ができるかを考えさせる。  評価ア【ワークシート】 |

(３) 評　　価

　ア　家族の無償の愛に気付き，自分と家族のつながりや家族のあり方について考え，改めて家族を大切にしようとする気持ちをもつことができたか。　　　　　　　　　　　　【実践意欲と態度】